

×昨日の自分に負けない自分でいられるように

前へ

令和8年
9月1日(火)
第4号

2学期が始まりました。皆さん有意義な夏休みを過ごすことができたでしょうか。2学期は1年間の中で最も長い学期であるとともに、各学年・全校で大きな行事が予定されていて様々な経験ができる学期です。

修学旅行【3年】 合唱コンクール【全校】 校外学習【1・2年】

この他にも生徒会役員選挙や後期の専門委員会で生徒会、各委員会の中心が3年生から2年生に引き継がれたり、部活動の新人大会が行われたりと学校としても代替わりの時期を迎えます。それぞれの行事や新たな立場で委員会、部活動に取り組む機会を通して、前へ進むことができることを願っています。

本日の始業式でお話した内容についてです。

☆ 合唱に一生懸命取り組むことがよい学校を創る ☆

なぜ合唱に一生懸命に取り組めると学校が良くなるのでしょうか。それは良い合唱を創るために必要な取り組みに『良い人を創る、良い集団をつくるために必要なこと』が多く含まれているからです。

ではその『必要なこと』とは何でしょうか。

※素直な心で取り組むことが大切

例えば「口を大きく開けよう」「息をたくさん使おう」「徐々に大きくしていこう」「練習を始めよう」等、様々な指示やアドバイスがあったときに素直な気持ちでそれを実行しようとする心と行動が必要です。この気持ちと行動がないとなかなか合唱が前に進むことはできないと思います。

※一人一人の良さを出し合うことが良い合唱につながる

合唱はいくつかのパートがあります。そのパートが担っているものを出し合っこそ良いハーモニーが生まれ、良い合唱になっていきます。自分の役割をしっかり理解し、他のパートのことも気遣いながら全体として良い合唱になるように自分の任されていることに全力を注ぐ。その自覚と心遣いが良い合唱につながると思います。

※一人の不誠実な行動で頑張っている人の努力が台無しになるのを知っている
「感動は壊れやすい」と言われます。ほとんどの人が一生懸命に合唱に取り組んでいるときに一人でも不誠実な行動（例えば、口も開けずに歌っていない、だらしなく立っている、服装がだらしない等）が見られたとき、感動は一気に吹き飛んでしまいます。

このように良い合唱を創っていくためには素直な心で、自分の任されていることに全力を尽くし、周囲の人の努力を無駄にしない心遣いが必要となります。これらのことを実行できる人、人たちが良い合唱にたどり着けると考えています。だから合唱に一生懸命取り組むことで学校が良くなっていくことにつながります。

2学期は合唱コンクールがあり、それを実行できる良い機会です。合唱コンクールの取り組みを通して良い合唱、良いクラス、良い学校を創っていきましょう。



(文責 齋藤 元)

- ★ 心と視線を相手に向けて
- ★ 笑顔で、相手に聞こえる声で
- ★ 心をこめてさわやかに

これからもすてきなあいさつで大泉西中学校をすてきな学校にしていきましょう。